

公 表 日
令和 4 年 8 月 2 日

随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度耶馬溪ダム流入予測システム改良外検討業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 山国川河川事務所長 中元 道男 中津市大字高瀬1851-2
契約年月日	令和 4 年 8 月 2 日
契約業者名	(株) 建設技術研究所
契約業者の住所	福岡県福岡市中央区大名2-4-12
契約金額	26,983,000円(税込み)
予定価格	26,983,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙契約理由書のとおり
業務場所	大分県中津市耶馬溪町大字柿坂地先
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4 年 8 月 3 日
履行期間(至)	令和 5 年 2 月 2 8 日
備考	入札情報サービス(PPI) (https://www.i-ppi.jp/Search/Web/Gyomu/Keika/Search.aspx) にアクセスし、発注機関及び業務名を入力して検索することにより、契約過程に関する情報を閲覧可能である。

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

契約理由書

1. 業務件名 令和4年度耶馬溪ダム流入予測システム改良外検討業務

2. 履行場所 大分県中津市耶馬溪町大字柿坂地先

3. 契約の相手方 会社名：株式会社建設技術研究所 九州支社
住所：福岡市中央区大名2-4-12
代表電話：(092)714-2211

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は、現行の耶馬溪ダム流入量予測システムの予測精度向上を図るとともに、事前放流等の柔軟なダム操作の放流計画策定を支援する機能改良を行うものである。また、併せて、洪水後期放流の発電活用操作の検証や洪水後期放流の増放流操作方法の検討、管理用発電の活用検討を行うものである。

2) 業務の内容

・計画準備 ・流入量予測システムの改良 ・洪水後期放流の発電活用操作の検証
・洪水後期放流の増放流操作方法の検討 ・管理用発電の活用検討 ・報告書作成

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者が入手（ダウンロード）し、1者から参加表明書が提出され、1者が参加資格を有していた。

参加資格を有する1者を技術提案書の提出者として選定し、技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び評価テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に、実施方針及び評価テーマ【柔軟なダム操作に対し、ダム管理者の判断を支援するシステム機能構築の留意点】に対する技術提案において、総合的に優れた提案を行ったものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記業者と契約を締結するものである。

(契約理由書作成者)

山国川河川事務所 ダム管理課長